

新しい人生のはじまり 第一課

キリストとの新しい人生のはじまり

イエス・キリストを信じた人なら、だれでも神さまとの正しい関係をもつことができます。

この確信なしに、キリストとの新しい人生を十分に楽しむことはできません。

イエス・キリストを罪からの救い主として信じ受け入れたとき、あなたは神の子どもになりました。

ヨハネ 1:12 は、次のように約束しています。

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、

その名を信じた人々には神の子どもとされる特権をお与えになった。

- ・あなたはすでに、イエスさまを信じましたか？
- ・もしそうなら、神さまはあなたにどのような特権を与えましたか？
- ・何を根拠に、あなたは確かに神の子どもだと、信じることができますか？

イエス・キリストを信じたことで、あなたは生きている神さまとの個人的な関係に入りました。こうしてあなたも、クリスチャンとなったのです。

道徳的に良い生活を送っているからとか、クリスチャンの家庭に生まれたからなどの理由で、クリスチャンになるわけではありません。「クリスチャン」という言葉は「キリストにある人」、つまり「キリストを信じる人」を意味します。

●「新しい関係」

1. ヨハネ 1:12 によると、キリストを信じ受け入れたとき、あなたは「神の子ども」としての特権が与えられました。他のクリスチャンも同様に神の子とされました。では、あなたと彼らはどのような関係になったのでしょうか。

2. ヘブル 13:5 を読んでください。

- a) キリストが信じる者を見捨てて、離れ去ることはあるでしょうか。
- b) キリストは「決してあなたを離れることはない」のなら、何回、心に迎える必要がありますか。

●「新しいいのち」

3. I ヨハネ 5:11～13 を読みましょう。

- a) 永遠のいのちはどこにありますか。(11 節)
- b) キリストを信じた人は、どのような「いのち」を持っていますか。(13 節)
- c) 永遠のいのちを持っていることをどうしたら、確信できますか？

- ・あなたは永遠のいのちを持っていますか。
- ・何を根拠に、そのように言えますか。

●罪のゆるし

救いとは、人がイエス・キリストを信じたときに与えられる‘**神からのプレゼント**’です。
救いを受けたとき、私たちに完全な‘**罪のゆるし**’があたえられます。

4. エペソ 2:8~9 を読みましょう。
- a) 救いは、人の行いや努力によって獲得できるものですか。
- b) では、どうしたら救われますか。
5. コロサイ 2:13~14 を読みましょう。
- a) 神さまはあなたの罪をいくつ赦してくれましたか。(13 節)
- b) 神さまは、あなたの罪の記録をどのようにしましたか。(14 節)

●「新しい存在」とされる

6. II コリント 5:17 を読んでください。
キリストがあなたの内におられる今、あなたはどのような者とされていますか？
7. あなたをキリストから引き離すことのできるものが何かあるでしょうか。
(ローマ 8:38~39、ヨハネ 10:27~29)

●第一課を終えて…

キリストを信じ受け入れたあなたに、神さまはどのようなことをしてくれましたか。
この課で学んだことを振り返り、あなた自身の言葉でまとめてみましょう

神さまに感謝する祈りをしましょう。感謝することは、信仰の表現だからです

新しい人生のはじまり 第二課

キリストと交わる新しい人生のはじまり

イエス・キリストを信じ受け入れたとき、あなたは**神さま**と個人的な関係をもつ「**神の子ども**」とされました。しかし、多くの**クリスチャン**は不安になることがあります。**クリスチャン**が罪を犯したらどうなるのか。キリストに見捨てられ、**神さま**との関係は絶たれてしまうのではないか、という不安です。

「**神との関係**」と、「**神との交わり**」の違いを理解するとき、この不安もすぐに消え去ることでしょう。**神さま**との関係と交わりの違いは、人間の**親子関係**にたとえて考えると理解しやすいです。

関係 Relationship

ある家庭に子どもが生まれたとします。その子は両親のいのちを受け継ぎ、「息子・娘」という**間柄**になり、親の姓、愛、保護…を受ける立場となります。では、もしその子が両親を悲しませるような悪いことをしたとしたら、どうでしょう。それでもまだ、その子は両親の子どもではないでしょうか？

そうです。一度できた親子の**関係**は永遠に変わりません。子どもがどのような行動をとったとしても、**親子関係**は同じように存在し続けます。

交わり Fellowship

けれども、親子の間の**交わり**、**親しさ**はどうでしょう。息子・娘のとった行動の結果、親しい**交わり**は断たれてしまいます。親子の**交わり**を回復するために、息子・娘はどうすればよいのでしょうか。彼(彼女)は両親のところに行き、自分の間違いを認め、ゆるしを請う必要があります。

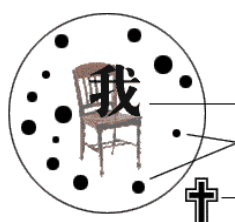
このたとえを、私たちと**神さま**の関係にもどして考えてみましょう。

私たちと父なる**神さま**との**関係**は不変です。私たちクリスチャンは**神さま**の子どもであり、この**関係**は決して変わりません。

しかし私たちが罪を犯し、**神さま**を悲しませることをすれば、**交わり**は断たれてしまいます。**交わり**を回復するため、私たちは自分が間違っていたことを認め、**神さま**の**ゆるし**をいただく必要があります。(ルカ 15:11~24 参照)

I コリント 2:14~3:3 を読んでください。3種類の人が出てきます。

1. まだクリスチャンではない人



私が王座に
諸要素はバラバラ
キリストは心の外

- ・このような人は何と呼ばれていますか(2:14)?
- ・**神さま**との関係を持っていますか?
- ・**神さま**との**交わり**はどうですか?

2. キリストに導かれたクリスチャン



キリストが人生の王座
私はキリストに従う
神と調和した人生

- ・この人は何と呼ばれていますか(2:15)?
- ・神さまとの関係を持っていますか?
- ・神さまとの交わりはどうでしょう?

3. 自我に導かれたクリスチャン



私自身が王座に
キリストを従わせる
諸要素はバラバラ

- ・この人は何と呼ばれていますか(3:1)?
- ・神さまとの関係を持っていますか?
- ・神さまとの交わりはどうでしょう?

もし心の王座にあなた自身がついていると気づいたら、**罪を告白**することで、神さまとの交わりを回復させることができます。罪の告白には、以下の3つの要素があります。

①同意:

神さまが罪として示したことを素直に認め、それが良くないことであり、神さまを悲しませているという事実に同意します。

②感謝:

イエスさまが私たちの身代わりに十字架で死んでくださったので、神さまはその罪をも完全にゆるしてくださることを信じて、感謝します。

③方向転換(考えを変えること):

罪に勝利する力は私自身にはなく、**聖霊**(第三課で学びます)に頼るしかないと認めます。

●罪のゆるし

Iヨハネ 1:9 を読んでください。私たちは自分の罪をどうすべきですか。

私たちが罪を告白するとき、神さまは何をすると約束していますか。

- しばらく静まり、神さまに心を探っていただきましょう。
- 一枚の紙に示される罪を書き出し、神さまの前で、それらが罪であることを認めましょう。
- Iヨハネ 1:9 の約束をリストの上に大きく書き、十字架による神さまのゆるしを感謝しましょう。
- この紙を破り捨てましょう。

新しい人生のはじまり 第三課

聖霊との新しい人生のはじまり

三年もの間、弟子たちはイエスさまと生活を共にし、旅をし、働き、親しく語り合いました。しかしある晩、イエスさまは突然、自分がまもなく死ぬことを予告したのです。それを聞いた弟子たちは皆、おどろ愕然としました。

弟子の立場になって考えてみましょう。もしあなたが弟子の一人だったら、どのように感じたでしょう。気が動転し、落胆、絶望したでしょうか…。きっと彼らも同じように感じたに違いありません。

けれども、そのすぐ後で、イエスさまが次のように語っておられる場面を想像してみてください。

わたしが父なる神のもとへ行くことで、助け主があなた方に遣わされる。

この方はあなた方の内に住み、いつもあなた方と共にいてくださる。ヨハネ 14:16

この「助け主」が、**聖霊**です。イエスさまが言われたこの**聖霊**が、弟子たちの内に住むということは、驚くべき真理です。しかも、**聖霊**は永遠に彼らと共におられるのです。このことは、どれほど弟子たちを勇気づけ、励ましたことでしょうか。信じた人々の内に、**神ご自身**が実際に来られ、住んでくださるというのです。

弟子たちは使命を果たすのに、**イエスさま**をまねて、自分の力でがんばるといった「不可能なわざ」に直面する必要はなくなりました。それどころか、内住する**聖霊**の力によって、**キリストご自身**のいのち、品性、権威、そして力が、弟子たちの生活と個性の中に現わされるのです。

それから二十世紀を経た現在でも、この**キリスト**の約束が真実であることに変わりはありません。**イエスさま**のような生涯を送りたいと願う人々にとって、希望をもたらす知らせです。

努力そのものは尊いにせよ、自分の力で、**イエスさま**のような生涯を送ることは到底不可能です。つまり、真のクリスチャン生活とは、復活された**キリスト**が「私の内に住み」、「私を通して」**キリストご自身**の生き方を現実のものとして生きてくれる生き様、ということができます。

では、この**キリスト**のいのちを、いったいどうしたら「自分のものとして」体験できるのでしょうか。

小冊子『**聖霊の満たし**』を読みましょう。

その後で、以下の質問に答えてください。

復習のための質問

「聖霊の満たし」

1. 肉に属するクリスチャンは誰に頼って生きていますか。(P.6)

2. 御霊に属するクリスチャンは誰に頼って生きていますか。(P.5)

(注) 自分の罪を告白することを拒みつづけると、

御霊に属するクリスチャンも肉に属するクリスチャンとなってしまいます。

3. 「息を吐く」(罪の告白)ことに含まれる三つのことは何ですか。

(P.15)

①

②

③

4. 霊的に「息を吸う」とは何を意味していますか。(P.15)

5. どのようにしたら、私たちは聖霊に満たされるのでしょうか？(P.10)

6. 聖霊の満たしに関する神の命令と約束とは何ですか。(P.11)

a) 神の命令:

b) 神の約束:

私たちはこの命令と約束を「信仰によって」受け入れることで、
聖霊に満たされていることを確信することができます。

7. 「聖霊に満たされる」とはどういう意味でしょうか？

最後に、あなた自身のことばで定義してみてください。

新しい人生のはじまり 第四課

キリストにある成長と新しい人生のはじまり

キリストを受け入れた瞬間に、あなたも**神の家族**の一員になりました。すでに、何の差別もなく、神の愛と保護を受け、神の子どもとして成長できる存在です。肉体の成長に、食物、休息、運動が必要のように、霊的成長にも必要不可欠な要素があります。

神の子どもとして成長するため、私たちはキリストに**信頼**することから始めなくてはなりません。「義人は信仰によって生きる」ガラテヤ 3:11。信仰によって生きるとき、**神さまの働き**を、あなた自身のこととして体験できるようになります。

霊的健康の維持

成長のため、霊的健康を維持することが大切です。秘訣は、以下の四つです。

1. 祈り 2. 聖書 3. 交わり 4. 証し

● **祈り** 祈りによって父なる神に話しかけます。

1. ペリピ 4:6~7 を読みましょう。

私たちは何をささげるようにとされていますか。

私たちはどのような場合に祈るべきでしょう。

祈るならば、神さまは何をすると約束していますか。

祈りとは、神さまとのコミュニケーションです。それは親子の会話のようなものです。クリスチャンは、愛に満ちた偉大なお父さんである**神さま**に、何でも話すことができます。**神さま**は私たちを愛しているので、私たちとの会話を何よりもうれしく思っています。祈りはまた、私たちの心(内面)の健康維持にも欠かせないものです。(祈りについては第六課でさらに詳しく学びます)

● **聖書を学ぶ** 聖書によって、神はあなたに語り掛けます。

2. 聖書を読むことは、私たちにどのような点で、益となるのでしょうか。(Ⅱテモテ 3:16~17)

3. 信仰の成長はどのようにして始まりますか。(ローマ 10:17)

肉体の健康のために、食糧が必要です。食糧がなければ、人は弱り果て、ついには病気になってしまいます。同じように、聖書は私たちにとって「**霊的な食べ物**」マタイ 4:4 です。霊的健康を維持するために、日々、聖書を読み、神さまの言葉を心にたくわえることが大切です(第五課を参照)。

新しい人生のはじまり 第五課

神のことばと新しい人生のはじまり

神さまは、ご自身が創造された人間に語りかけようと思われました。はじめは、旧約聖書を記した献身的な人々を通して語りかけ、それからイエス・キリストがこの地上に来られ、神ご自身が人となり人間と直接コミュニケーションを持ってくださいました(ヨハネ 1:14、ヘブル 1:1~2)。

イエスさまは十字架で死に、復活された後、天に帰られましたが、神さまは再びご自身に忠実な人々を用いて、神の御子についての記録を残そうとされました。その彼らの熱心と従順の結果、新約聖書が誕生しました。

つまり聖書全体が、私たちに対する神さまからの語りかけを記録した書物ということができます。聖書は、私たちと親しく交わることを望み、私たちの応答を求めておられる神さまが与えてくださった、‘いける神のことば’なのです。

準備

1. 神を求める心

あなたも神さまを求める心をもって、聖書を学ぶと良いでしょう。

「神さま、あなたが聖書を通して、私に大切なことを語ってくださるのを感謝します。

どうかあなたからの語りかけに心を開くことができるよう、私を導いてください。」

2. 聖書のほかにノート(ディボーションブック) 筆記用具を用意しましょう。

神さまに心を向けやすい、落ち着ける場所を選びましょう。

3. 聖書を学ぶにあたり、聖霊の導きを祈り求めましょう。

4. 聖書は三つのステップに従って学びます。 ①観察 ②解釈 ③適用

① 観察 何が書かれているのか？

- ◇ どういう意味かを考える前に、何が書かれているのかを注意深く観察します。何度か読むことから始めます。
- ◇ その箇所の大まかなテーマを見つけましょう。(前後の文脈をよく観察)
- ◇ 5W1H(いつ、どこ、だれ、なに、なぜ、どれくらい)の質問を用いると、良い観察ができます。
- ◇ キーワード(繰り返し出てくる表現など)や、特別な約束、命令に注目しましょう。
- ◇ 心に浮かぶ質問・疑問を、書き出しておきましょう。

② 解釈 どういう意味なのか？

- ◇ 観察から、その箇所が伝えようとしていることを、あなた自身の言葉でまとめてみましょう。
- ◇ 神さま(父なる神、キリスト、聖霊)について教えている部分があれば、書き出します。
- ◇ 従うべき命令、握るべき約束、告白すべき罪、変えるべき態度、見習うべき模範…があれば、書き出します。

③ 適用「私にとって」

- ✧ 学んだことを、どのようにあなたの生活に生かすべきか、神さまに聞いてみましょう。
- ✧ 教えられたことをクリスチャンの友人と分かち合い、互いのために祈りましょう。
- ✧ 適用は具体的に書きましょう。(例えば、周りの人のために祈ることの重要性を学んだのなら、ただ「できるだけ祈るようにしよう」ではなく、「今週、毎日、〇〇さんの救いのために祈ろう」というように。)
- ✧ 解釈は一つでも適用は多くある場合があります。

● 学びの一例(短い箇所の観察)

<p>【聖書箇所】 あなたがたの思い煩いをいっさい神にゆだねなさい。 神があなたがたのことを心配してくださるからです。I ペテロ5:7</p>
<p>観察</p> <p>だれ：誰が誰に向けて書いているのか？→ ペテロ(1:1)から「あなたがた」へ あなたがたとは誰のこと？ →</p> <p>なに：何について書かれているのか？→ 思い煩いを神様にゆだねることについて 「思い煩い」とは何か？→ 心にある「不安」とか「心配事」のこと 「ゆだねる」とは？ → 自分の手から離して誰かに任せること。 どんな思い煩いをゆだねるべきか？ → 「すべて」の思い煩い！</p> <p>なぜ：なぜペテロは思い煩いをゆだねるべきと言っているのか？ →神さまが思い煩うクリスチャンたちのことを心配しておられるから。</p>
<p>解釈 ①聖書は心に心配や不安を持つクリスチャンに対して、それらを全部、自分の手から離して神さまの手に任せるよう勧めている。 ②神さまについてわかること：神さまは心に心配事を持つクリスチャンたちのことをバカにしたりはしない。かえって神さまが、その人のことを心配し、心にかけていてくださる。</p>
<p>適用</p> <p>私の今の思い煩い：水曜日のテストのこと。苦手な教授。やばい！ でも思い煩うことをやめて、ベストを尽くそう！ 月曜日の2限があいているから、そのとき集中して勉強しよう。 「神さま、テストのこともあなたにゆだねます！どうかテストのことで毎日の生活が振り回されることがないように、私を守っていてください」。</p>

● 練習 ルカ 15:11-32

観察 解釈 適用の手順で裏面にやってみてください。

ノートを用意し、日々の御言葉とのやり取りを記入してみましょう。神さまを、またあなた自身を知るプロセスがわかり、後で読み返して、励まされることでしょう。SI 大阪では「リビングライフ」という月刊ディボーション雑誌を用いて、皆で同じ箇所からディボーションしています。また facebook では、学んだことを分かち合っています。ぜひ参加して、互いに聖書から学びましょう。

新しい人生のはじまり 第六課 祈りと新しい人生のはじまり

祈りは神さまとのコミュニケーションです。あなたが祈るとき、神さまは静かに耳を傾けています。どんな関係においても、互いの思いが伝わりあってはじめて、有意義な関係ということができます。聖書に記されている人々の記録を見ると、神さまと人間とのコミュニケーションが大切なこととして書かれていることに気づきます。人々が神さまに聞き従い、祈りを大切にしているときは、霊的生活は充実したものとなり、神さまに聞き従わず、祈りをないがしろしているときは問題が多く起こっています。これは今日の私たちにも当てはまります。

イエスさまの生涯においても、祈りは大切な部分を占めていました。幼少の頃から、イエスさまは父なる神さまと親しく語り、御心を聞いていました。祈りは、イエスさまの働きと人生の土台にありました。イエスさまの弟子として歩む人はだれでも、祈りについて学ぶ必要があるのです。

●**祈りの4要素**…英語の頭文字を取って **ACTS** (使徒の働き) と覚えます。

・**賛美 Adoration** ・**告白 Confession** ・**感謝 Thanksgiving** ・**願い Supplication**

1. 賛美 Adoration

1. 詩篇 95:6 では、どのようなことが勧められていますか。
2. 私たちが神さまを礼拝すべき理由は何でしょうか。(詩篇 95:6-7)
3. 詩篇 135:3 において、どのような理由で神さまを賛美していますか。
4. I 歴代誌 29:11-12 に表わされている神さまのご性質には、どのようなものがありますか。

練習

今、少し時間を取り、神を神としてあがめましょう。神さまの愛、聖さ、憐れみ、偉大さなど「神さまのご性質」を覚えて、神さまを賛美して祈りましょう。

2. 告白 Confession

1. 詩篇 66:18 によれば、心に罪を抱いたまま祈るとどうなりますか。
2. I ヨハネ 1:9 によると、私たちが罪を告白するなら、神さまはどうされると約束していますか。

告白の 3 要素 (第二課を参照) :

練習

しばらく静まり、神さまに心を探っていただきましょう。あなたの生活の中で、心の中の態度で、神さまに喜ばれない部分がありますか？もしあるのなら、今、その罪を神さまに告白しましょう。示された罪を告白し、十字架によるゆるしときよめを感謝しましょう。

3. 感謝 Thanksgiving

1. 詩篇 106:1 では、どのようなことが命じられていますか。
2. I テサロニケ 5:18 によると、私たちはどのような場合に神さまに感謝すべきでしょう。
3. ローマ 8:28 には、私たちがあらゆる場合に神さまを感謝できる理由(神の約束)が書かれています。それは何でしょうか。

練習

1. 今、少し時間を取り、神さまに感謝したいことを書き出して、神さまに感謝の祈りをしましょう。
2. 次に「感謝などできない」と感じていることについて書き出しましょう。

感謝することが困難なことでも、信仰によって祈り、神さまに感謝の祈りをささげましょう。

4. 願い Supplication

1. ヤコブ 4:2 によると、願いが聞かれないのは、どのような理由によりますか。
2. イエスさまは、私たちの必要を願うなら、神さまはどうすると教えましたか。(マタイ 7:7)
3. I テモテ 2:1 によると、私たちは誰のために祈るべきでしょうか。

練習

ここで少し時間を取り、あなたの具体的な必要と願いをノートに書き込んでみましょう。このリストを日々の祈りの中で用い、神さまに願い求めましょう。(具体的な祈りの課題は、後で祈りが答えられたときに、神さまが祈りに答えてくれたことがわかるので、祈る喜びが増し加わります。

まとめ 個人で、グループで、教会で、祈りを大切にした生活を心がけましょう。あなたにも、この世界の人々にも、きっと大きな祝福がもたらされることでしょう！